

神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・VII

山田和彦・工藤孝浩

Kazuhiko Yamada and Takahiro Kudo :
Landing Fishes of Misaki Fisheries Market, from Sagami Bay, VII

はじめに

筆者らは、相模湾の魚類相を明らかにするために、1984年から三崎魚市場での調査を継続的に行っている。前報までに458種を報告した(山田・工藤, 1997)が、その後新たに23種が追加されたので報告する。

調査方法

調査は、三崎魚市場に水揚げされる魚類のうち、相模湾で採集されたものについて種類、採集場所、採集方法を記録した。調査期間は、1996年10月から1997年9月までの間で、合計56回、1ヵ月平均5回の調査を行った。ここでいう相模湾とは、伊豆半島石廊崎と房総半島洲崎を結んだ線以北の海域のうち、観音崎-富津岬以北の東京湾を除く海域である。魚類の採集場所を図1に示す。初記録種および現場での同定が困難なものは、標本として採集し、横須賀市自然博物館魚類資料(YCM-P)として登録した。また、標本の入手が不可能なものは、写真で記録した。魚種名、分類学的配列および全般的な分布記録などは中坊編(1993)に従った。

海況について

調査期間中の相模湾付近における海況は、概ね次のとおりであった。

1996年10~12月の黒潮は、御蔵島と八丈島の間を直進し東方に流れた。ところが、1997年1月に入ると黒潮は伊豆列島上を通過直後に南へ向きを変え大きく蛇行した。この蛇行は2月下旬まで持続し、この間に相模湾の表層は最低水温の13℃台を記録した。3月中旬には伊豆大島と房総半島の間から一時的な黒潮分枝流の流入があり、相模湾の水温は平年を2℃近く上回った。その後は直進

傾向に戻り、9月まで小蛇行を生じつつ三宅島から青ヶ島の間を流れた。この間相模湾は黒潮の影響を受けにくい状態にあり、表面水温は平年並みからやや低めで経過した。しかし、8月下旬には、房総半島南方で北向きに生じた小蛇行によって一時的に相模湾に暖流が流入した。これに伴って暖流性や外洋性の魚類が出現したが、調査期間中これら魚類がまとまって出現したのはこの時期のみだった。

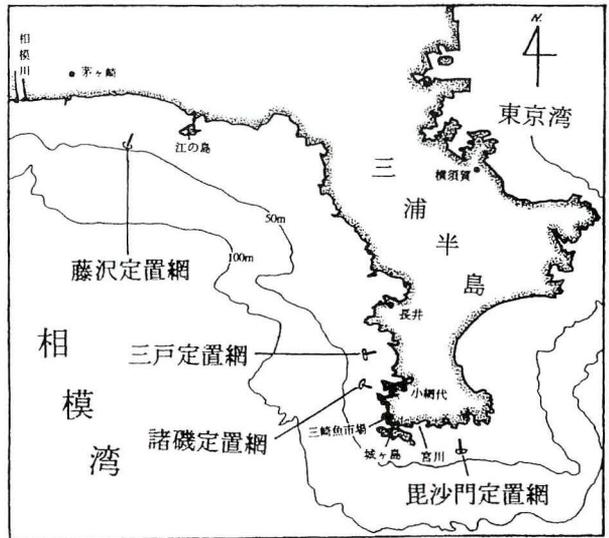


図1 採集地及び周辺海域の水深

調査結果

以下に本目録に追加される各魚種の採集年月日、採集場所および採集方法、全長(TL)、登録番号、分布記録等を述べる。

459. エイラクブカ *Hemirhamphys japonica*

1996年10月27日、藤沢定置網、TL: 481mm
YCM-P 35332

房総半島(Miya *et al.*, 1994)以南、南シナ海ま

で分布する。相模湾では、伊豆半島側では普通(萩原, 1996)だが、三浦半島からの記録はなかった。

460. アミウツボ *Gymnothorax reticularis*

1996年10月13日, 藤沢定置網, T L : 492mm
Y C M-P 35333

東京湾(工藤・中村, 1994)以南, インド洋まで分布する。相模湾では西湘定置網(林・西山, 1980)から記録がある。

461. メクラアナゴ *Dysomma anguillare*

1997年3月12日, 藤沢定置網, T L : 381mm
Y C M-P 35334

相模湾(Miya & Hirose, 1994)以南の世界の海洋に広く分布する。5月上旬まで1網に数個体づつ漁獲された。生息深度は、30~270mとホラアナゴ科魚類としては浅いが、これまで相模湾沿岸の定置網で漁獲された記録はない。

462. オオシロアナゴ *Ariosoma shiroanago major*

1997年8月24日, 昆沙門定置網, T L : 269mm
Y C M-P 35335

ハナアナゴ *A. anagoides* に似るが、頭部に褐色横帯がなく、臀鰭も黒くなく、体色も淡い。また肛門前側線孔数が53で、55~59のシロアナゴ *A. shiroanago shiroanago* と区別できる。マアナゴ、ハナアナゴ、ギンアナゴなどとともに入網した。従来は三重県以南に分布するとされ、相模湾初記録。しかし、その後も数個体入網しているほか、以前撮影した写真の中にも本種と思われる個体があるため、普通に分布していると考えられる。

463. ニシキウミヘビ *Ophichthus tsuchidae*

1996年11月11日, 藤沢定置網, T L : 494mm
Y C M-P 35336 :

三崎以南, 高知県まで分布する。三崎産の標本にもとづき記載されたが(Jordan and Snyder, 1901a), 三崎では稀。

464. サクラマス *Oncorhynchus masou masou*

1997年4月9日, 昆沙門定置網, T L : 325mm
Y C M-P 35337

相模湾のサクラマスは太平洋側の南限と考えられている。過去に相模湾最大の流入河川である相模川で採捕された個体の鱗紋から、3年魚で河川回帰する一般のサクラマスと異なり、2年魚で回帰する可能性を示唆する知見が得られている。現在は河川横断工作物による遡上阻害のため、相模湾流入河川における天然魚の再生産は疑問視されているが、ヤマメの養殖種苗中にまれに出現する

スマルトを買い上げて相模川に放流している市民団体があり、最近相模湾で採捕される本種は、その種苗を起源としている可能性が高い。

465. オオクチイワシ *Notoscopelus japonicus*

1997年2月16日, 三戸定置網, T L : 146mm
Y C M-P 35338

Owston が三崎沖で採集した個体をもとに記載された(Tanaka, 1908)。北海道南部以南の西部北太平洋の混合水域に分布する。三浦半島周辺の定置網には、通常入網しない。

466. センハダカ *Diaphus suborbitalis*

1996年12月15日, 三戸定置網, T L : 52.1mm
Y C M-P 35339

相模湾以南のインド・西太平洋の温暖海域に分布する。ハダカイワシ、サガミハダカとともに入網したが、両種に比べ出現期間、個体数ともに少ない。

467. カラスヒゲ *Ventrifossa fusca*

1997年2月16日, 昆沙門沖(安房瀬, 水深400-500m)釣, T L : 415mm, Y C M-P 35340

九州-パラオ海嶺から採集されているのみで、相模湾からは初記録。同日同所から釣られたものにアブラボウス、キンメダイ、クロシビカマス、ヘラツノザメ、テナガダラ、アコウダイ、メダイ、ウケグチメバル、チカメキントキがあった。

468. ソウシイザリウオ *Antennarius scriptissimus*

1997年3月12日, 城ヶ島刺網, T L : 305mm
Y C M-P 35341

南日本からインド・西太平洋に分布する。胸鰭鰭条が分岐することで同属他種から区別される。相模湾からは海洋公園から記録がある(横田・瀬能, 1991)。三崎では刺網にかかることがあるが、市場に水揚げされることはない。

469. アイブリ *Scriolina nigrofasciata*

1996年10月27日, 藤沢定置網, T L : 200mm
Y C M-P 35342

南日本以南, インド・西太平洋の温暖海域に分布する。相模湾では、西湘定置網(林・西山, 1980)から記録がある。1996年12月8日には三戸定置網にも入網した。

470. ムレハタタテダイ *Heniochus diphreutes*

1997年9月23日, 藤沢定置網, T L : 77mm
Y C M-P 35343

相模湾以南, オーストラリア, アフリカ南東部まで広く分布する。ハタタテダイ *H. acuminatus* に似るが、背鰭棘数が12であること、臀鰭の黒色域

が最長軟条までおよぶことから本種に同定された。同網にはシロシモクザメも入網しており、9月18日に接近した台風の影響と思われる。相模湾では天神島(林, 1995), 芝崎(萩原・長谷川, 1990), 田ノ浦(東ほか, 1989)から記録がある。

471. マハゼ *Acanthogobius fravimanus*

1997年3月12日, 藤沢定置網, TL:157mm
YCM-P 35344

北海道以南に分布する。相模湾では三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991), 天神島(林・伊藤, 1974), 葉山(中村, 1970), 江の島(植田・萩原, 1992)から記録がある。

472. オニカマス *Sphyraena barracuda*

1997年7月1日, 諸磯定置網, TL:1030mm
YCM-P 35345

南日本以南, 世界の熱帯海域に分布。相模湾では三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991)から記録がある。大型個体の目撃例はあるが, 標本にもとづく成魚の記録は初めてである。当日黒潮は八丈島付近を直進しており, 6月29日に接近した台風の影響を受け, 沿岸に運ばれたものと思われる。

473. オオメカマス *Sphyraena forsteri*

1990年10月, 三浦半島周辺の定置網, TL:約350mm

琉球列島以南, インド・西太平洋の熱帯海域に分布する。胸鰭基部に黒斑があるので本種とした。調査期間以前の記録であるが, 相模湾初記録となるため収録した。1990年10月から翌年にかけて, 相模湾には黒潮が強く流入し, バショウトビウオ, オニアジ, カスマアジ, リュウキュウヨロイアジ, カムリダチなど暖流性の魚類が多く記録された(山田, 1991)。

474. フウライカマス *Nealotus tripes*

1996年10月10日, 三戸定置網, TL:234mm
YCM-P 35346

世界の温・熱帯海域に広く分布する。相模湾初記録。同網にはカラスエイ, マイワシ, ゴマサバ, トビウオ, マルソウダなどが入網した。

475. クロメダイ *Icichthys lockingstoni*

1997年3月2日, 諸磯定置網, TL:410mm
YCM-P 35347

相模湾以北の北太平洋に分布。相模湾では西湘定置網(林・西村, 1980), 真鶴(Abe, 1963a)から記録がある。Abe(1963)によると, 1963年前半に相模湾付近に異常冷水塊があり, 多くの冷水性, 深海性魚類が沿岸の定置網で漁獲された。そのな

かで本種は, 3月21日から5月6日にわたり, 12個体が採集されている。またそのときの水温は, 14.4~15.5℃であったとしている。林・西村, 1980には二宮地先の定置網で漁獲された3個体がリストされているが, 1963年の冷水期に採集されたものと思われる。1997年3月も房総半島にそって冷水が南下しており, 通常は相模湾に分布しないものと考えられる。

476. スジハナビラウオ *Psenus cyanophrys*

1997年6月25日, 三戸定置網, TL:103mm
YCM-P 35348

相模湾以南の世界の温暖海域に分布する。相模湾では, 真鶴(Abe, 1963b), 浮魚礁(工藤, 1991)から記録がある。6月21日に通過した台風の影響により, 強い南風が吹き, 沿岸に運ばれたと思われる。

477. クラゲウオ *Psenus arafurensis*

1997年8月24日, 毘沙門定置網, TL:100mm
YCM-P 35349

世界の熱帯海域に分布する。相模湾からは小網代(Tomiyama and Abe, 1954), 城ヶ島(岡部・工藤, 1993)から記録がある。当日ミズクラゲが多量に入網した。相模湾では, ハナビラウオより稀。

478. オオメメダイ *Ariomma luridum*

1997年3月12日, 三戸定置網, TL:280mm
YCM-P 35350

南日本からニュージーランド, 東太平洋の熱帯海域に分布する。相模湾では, 真鶴高浦定置網で113mmの1個体, 下田赤沢定置網で430mmの1個体が記録されている(Abe, 1954)。

479. ヒシコバン *Remora osteochir*

1997年8月24日, 三戸定置網, TL:153mm
YCM-P 35351

世界の温暖海域のカジキ類に吸着する。相模湾では松輪(田中, 1900)から記録がある。本個体はバショウカジキ(TL約2m)に付着していた。8月20日ごろ相模湾内の水温は, 21℃から23℃に上昇し, 沖合いからの潮流の流入にともない出現したと思われる。他にロウソクチビキ, アヤトビウオなどが入網した。

480. ナガレメイタガレイ *Pleuronichtys* sp.

1997年2月26日, 毘沙門定置網, TL:228mm
YCM-P 35352

三崎市場では, 本種とメイタガレイ *P. cornutus* を区別していないため, 以前より分布していたが記録されていなかった。相模湾付近での両種の分

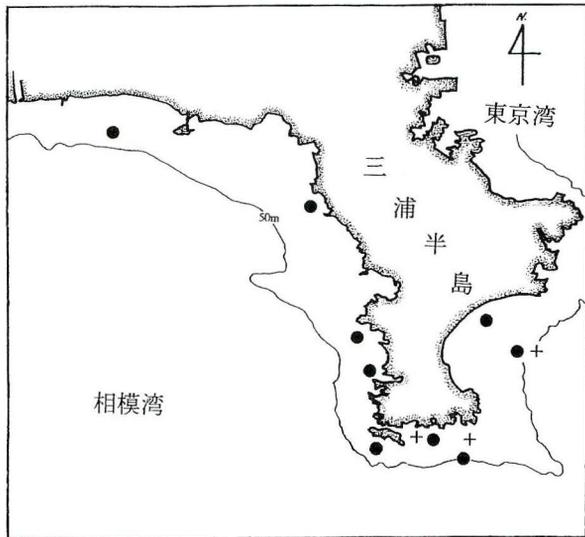


図2 相模湾東部におけるメイトガレイ類の分布

●: ナガレメイトガレイ, +: メイトガレイ

分布は明らかではないが、調査期間中、三崎市場に水揚げされた個体をもとに、三浦半島周辺の分布状況をみると、城ヶ島より西の海域にはナガレメイトガレイのみがみられ、東の海域には両種がみられた(図2)。渡部他(1992)によると、ナガレメイトガレイの分布は、メイトガレイより外海に片寄っており、開放的環境の相模湾では、メイトガレイよりナガレメイトガレイの方が卓越している可能性が高い。

481. アカシタビラメ *Cynoglossus joyneri*

1997年6月25日、三戸定置網、TL: 268mm
YCM-P 35353

南日本から南シナ海に分布する。相模湾では、江の島～平塚沖(亀井, 1980)から記録がある。三崎周辺の刺網では漁獲されておらず、6月21日の台風の影響で入網したと思われる。

482. ムシフグ *Takifugu exascurus*

1997年4月23日、三戸定置網、TL: 168mm
YCM-P 35354

三崎産の個体をもとに記載された(Jordan & Snyder, 1901b)。相模湾以南、日本海および九州西岸に分布する。相模湾では三崎のほか、三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991)、西湘定置網(林・西山, 1980)から記録がある。本年は、4～5月に5個体以上が採集されたが、例年はまったく見られず、稀な種類と思われる。

おわりに

本報告を作成するに当たり、標本登録の便をは

かったださり、種々ご教示いただいた横須賀市自然博物館の林 公義氏、神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能 宏博士、数々のご教示をいただいた京急油壺マリニパークの竹内経久氏、資料収集にご協力いただいた丸夕丸、共栄丸、丸共丸、諸磯丸、三崎沿岸漁業協同組合ほかの方々に深く感謝する。

文 献

- Abe T., 1954. New, rare or uncommon fishes from Japanese waters. V. Notes on the rare fishes of the suborders stromateoidei and tetragonuroidei. *Japan. J. Ichthyol.*, **3**(6): 222, 246, 255.
- Abe T., 1963a. Unusual occurrences of several species of boreal, amphipacific and bathypelagic fishes in Sagami Bay and adjoining waters during the first half of 1963, a coldwater season in Southern Japan. *Bull. Tokai Reg. Fish. Res. Lab.*, (37): 27-35.
- Abe T., 1963b. Description of a new nomeid fish from Japan. *Japan. J. Ichthyol.*, **11**(1/2): 31-35.
- 萩原清司・長谷川孝一, 1990. 葉山町芝崎周辺の沿岸魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 103-110.
- 萩原宗一, 1996. 下田海中水族館で観察・記録した軟骨魚類の繁殖生態. 月間海洋, 312: 380-385.
- 林 公義, 1995. 天神島自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, **21**(1): 243-258.
- 林 公義・伊藤 孝, 1974. 横須賀市佐島天神島・笠島沿岸の魚類. 横須賀市博物館雑報, (20): 37-50.
- 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置網で漁獲された魚類. 神奈川自然誌資料, (1): 15-27.
- 東 禎三・林 公義・長谷川孝一・足立行彦・萩原清司, 1989. 伊豆半島須崎、田ノ浦湾周辺海域の魚類. *Bull. Coll. Agr. & Vet. Med., Nihon Univ.*, (46): 175-185.
- Jordan D. & J. O. Snyder, 1901a. A review of the apodal fishes or eels of Japan, with descriptions of the nineteen new species. *Proc. U. S. Natn. Mus.*, **23**(1239): 837-890.
- Jordan D. & J. O. Snyder, 1901b. A review of the gymnodont fishes of Japan. *Proc. U. S. Natn. Mus.*, **24**(1254): 229-264.
- 亀井正法, 1980. 相模湾北岸の砂底沖浜水域に生息する異体類(カレイ・ヒラメ類)の分布. 神水試研報, 1: 81-89.

- 工藤孝浩, 1991. 平成2年度パヤオ集魚状況調査結果. 神奈川県水産試験場水試情報, 115: 1-2.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸域の魚類. 神奈川自然誌資料, (12): 29-37.
- 工藤孝浩・中村良成, 1994. 横浜, 川崎および中ノ瀬海域から初記録の魚類. 神奈川自然誌資料, (15): 39-46.
- Miya M., Higashitarumizu E., Gono T., Sumobe T. & Mochizuki K., 1994. Fishes of the Boso Peninsula, central Japan. *J. Nat. Hist. Mus. & Inst. Chiba*, **3** (1): 119-128.
- Miya M. & Hirokawa H., 1994. Anguilliform leptocephali from a fixed station in Sagami Bay, central Japan. *Japan. J. Ichthyol.*, **41** (1): 68-72.
- 中坊轍次編, 1993. 日本産魚類検索-全種の同定. 東海大学出版会, 東京, XXXIV+1474pp.
- 中村一恵, 相模湾沿岸のタイドプール魚類. 神奈川県立博物館調査研究報告(自然科学), (1): 1-33. pls. XII.
- 岡部久・工藤孝浩, 1993. 三浦半島西南部沿岸域の魚類-III. 神奈川自然誌資料, (14): 43-48.
- Tanaka S., 1908. Notes on some rare fishes of Japan, with descriptions of two new genera and six new species. *J. Coll. Sci. Imp. Univ. Tokyo, Japan*, **23** (13): 1-24.
- Tanaka S., 1915. Figures and descriptions of the fishes of Japan. XXI. Kazama-shobo, Tokyo, 371-382pp., pls. CI-CV.
- Tomiya I. and Abe T., 1954. Figures and descriptions of the fishes of Japan. Kazama-shobo, Tokyo, L: 983-1011, pls. 196-201.
- 植田育男・萩原清司, 1992. 江ノ島のタイドプールで観察された魚類. 神奈川自然誌資料, (13): 29-38.
- 渡辺健一・玉井恭一・沼知健一, 1992. 紀伊水道および外界域におけるメイタガレイ属2型(ホンメイタとバケメイタ)の食性と分布. 日水誌, **58**(12): 2253-2260.
- 山田和彦, 1991. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類-II. 神奈川自然誌資料, (12): 21-28.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1997. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類-VI. 神奈川自然誌資料, (18): 73-78.
- 横田雅臣・瀬能 宏, 1991. 日本産イザリウオ科魚類-学名および和名の整理-. *I. O. P. Div. News*, **2**(6): 2-5.

(山田：おさかな普及センター資料館, 工藤：神奈川県水産総合研究所)

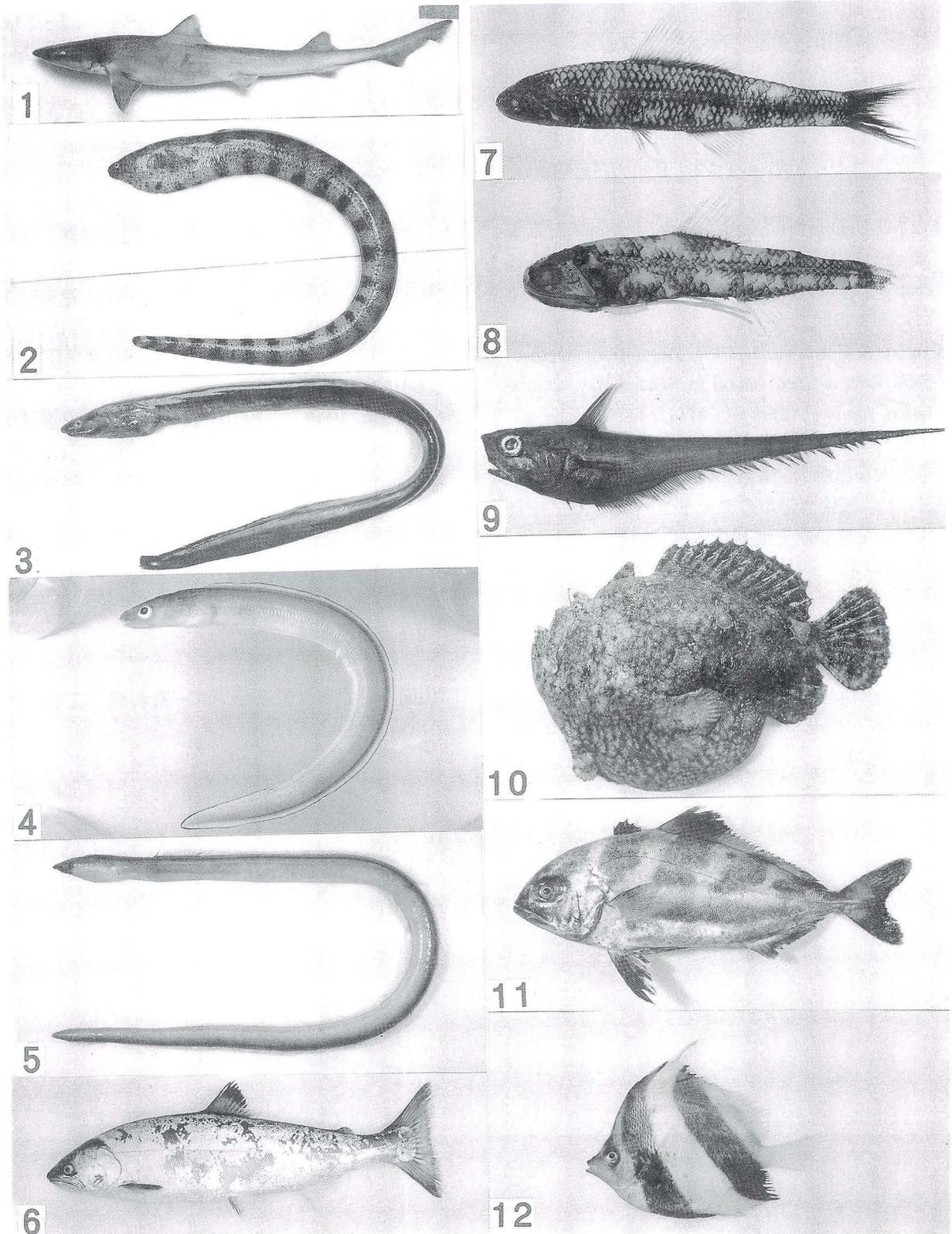


図3 1. エイラクブカ *Hemitriakis japonica*
 2. アミウツボ *Gymnothorax reticularis*
 3. メクラアナゴ *Dysomma anguillare*
 4. オオシロアナゴ *Ariosoma shirioanago major*
 5. ニシキウミヘビ *Ophichthus tsuchidae*
 6. サクラマス *Oncorhynchus masou masou*
 7. オオクチワシ *Notoscopelus japonicus*
 8. センハダカ *Diaphus suborbitalis*
 9. カラスヒゲ *Ventrifossa fusca*
 10. ソウシイザリウオ *Antennarius scriptissimus*
 11. アイブリ *Scriolina nigrofasciata*
 12. ムレハタタテダイ *Heniochus diphreutes*

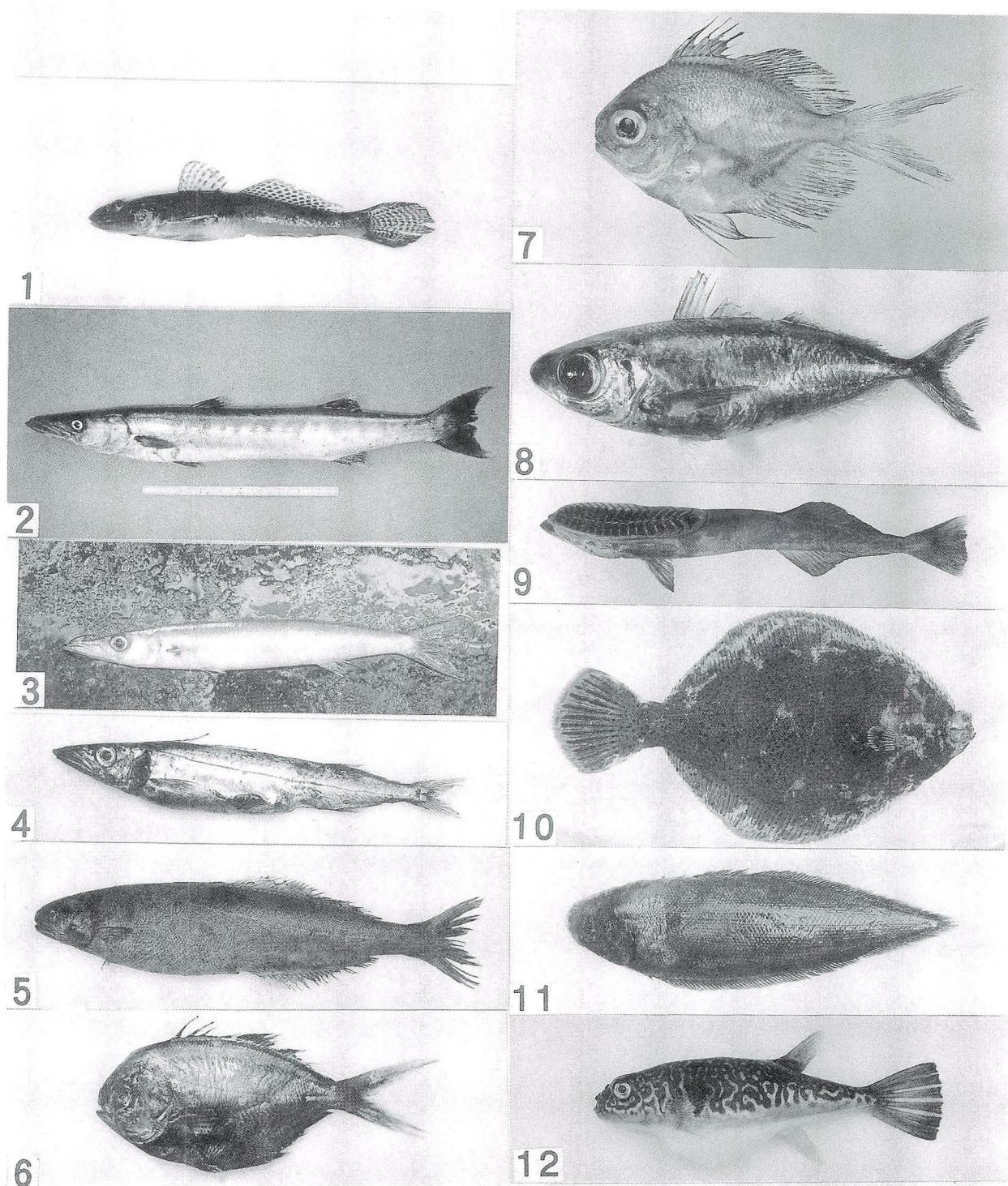


図4 1. マハゼ *Acanthogobius fravimanus*
 2. オニカマス *Sphyraena barracuda*
 3. オオメカマス *Sphyraena forsteri*
 4. フウライカマス *Nealotus tripes*
 5. クロメダイ *Icichthys lockingstoni*
 6. スジハナビラウオ *Psenus cyanophrys*

7. クラゲウオ *Psenus arafurensis*
 8. オオメメダイ *Ariomma luridum*
 9. ヒシコバン *Remora osteochir*
 10. ナガレメイタガレイ *Pleuronichtys* sp.
 11. アカシタビラメ *Cynoglossus joyneri*
 12. ムシフグ *Takifugu exascurus*